

法科大学院生・卒業生等向け座談会

『 アジアで弁護士として活躍する 』

近時、日本企業による中国、アセアン諸国などのアジア諸国への進出、または、アジア諸国の現地法人とのクロスボーダーの取引は、一層加速しています。弁護士として、これらの国際的な渉外法務に関わる機会は年々増加していると言えます。

しかし、法科大学院の学生や、卒業生にとって、訴訟を中心とした国内弁護士業務を理解することは比較的容易であるとしても、渉外法務に関与する弁護士がどのように仕事をし、どんなことを考え、またどのようなキャリアプランを持っているのか、知ることは必ずしも容易ではありません。

また、かつて我が国の渉外弁護士と言えば、アメリカのロースクールに1年留学し、ニューヨーク州弁護士資格を取得してアメリカのロー・ファームで1年勤務して帰国するというスタイルが主流でした。しかし、今日のアジアを中心とする経済圏の発展に伴い、弁護士の日本国外の留学や勤務先としても、アメリカからアジアに軸足が移りつつあります。

そこで、今回、シンガポールで最も古い歴史を有する大手法律事務所の Rodyk & Davidson LLP の渉外法務を担当する弁護士と、我が国で50年を超える歴史を有し、日本最初の弁護士法人となった法律事務所である弁護士法人淀屋橋・山上合同の渉外法務を担当する弁護士が、このような渉外法務、特にアジアで活躍する渉外弁護士に興味を持つ学生向けに、どう働き、どうキャリアプランを考えているのか、自分達の経験・体験をもとに座談会を行うことにしました。

シンガポールと日本を中心に第一線で活躍する複数の弁護士が、京都で講演する非常に貴重な機会ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。なお、Rodyk & Davidson LLP のシンガポール人弁護士の講演は英語となりますが、通訳を準備させていただきます（英語での質問も歓迎します）。

なお、座談会後に京都市内にて懇親会を計画しております。併せてお申し込み頂けますと幸いです。

【主 催】 弁護士法人 淀屋橋・山上合同・Rodyk & Davidson LLP

【協 賛】 同志社大学法科大学院

【日 時】 2014年10月18日（土） 16:30～18:30

【場 所】 同志社大学法科大学院「寒梅館」203号教室

（〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル）※地下鉄烏丸線「今出川」駅より徒歩2分

（詳細は <http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html> をご覧下さい。）

【参加者】 法科大学院生、卒業生等、法曹を目指す方（同志社大学法科大学院関係者以外でも歓迎します）

【参加費】 無料（懇親会については参加希望人数に応じて若干の費用を要します。）

【定 員】 100名（先着順）

【お申込】 下記にご記入のうえにFAX頂くか、又は電子メール（m-sakao@yglpc.com）

にてお申し込みください。※お問合せ先：弁護士法人 淀屋橋・山上合同 坂尾宛（TEL：06-6202-3355）

=====**参加申込書**（FAX：06-6202-3375）=====

座談会『 アジアで弁護士として活躍する 』の下記企画のうち、○印を付したものに申し込みます。

- 1 座談会（平成26年10月18日（土） 16:30～） に 参 加 します。
- 2 懇親会（平成26年10月18日（土） 19:00～） に 参 加 します。

お名前： _____ 所 属： _____
電 話： _____ 電子メール： _____

【参加弁護士紹介】

■NG Eng Leng

Rodyk & Davidson LLP パートナー弁護士。シンガポール、マレーシア及び英国にて弁護士登録。シンガポールのみならず東南アジア域内各国の案件や、上場企業が絡む M&A を専門としつつ、幅広いコーポレート案件、海外からの投資案件等を取り扱う。チャンバーズグローバルや ALB など世界的格付機関に M&A で活躍する弁護士としてもノミネートされる。

■Valerie ONG

Rodyk & Davidson LLP パートナー弁護士。コーポレート・M&A 分野で 20 年以上の豊富な経験を有し、シンガポールでのメジャー買収案件にも多く携わる。IPO を含む資金調達に関連する大型の M&A 案件、不動産投資が関わる合弁事業のストラクチャリングを含め実践的なアドバイスができるとの定評。

■中川 真理子

Rodyk & Davidson LLP パートナー弁護士。中央大学（法）学部卒、同大学院修士号、オーストラリア（NSW）法資格。シンガポール常駐、10 年以上に亘り、会社法務一般、雇用、M&A、知財、独禁法、紛争案件等の幅広い分野で日系企業のサポート業務に携わる。2011-12 年にホーチミン駐在、ベトナム法業務の経験も有する。

■藤本 一郎

弁護士法人淀屋橋・山上合同パートナー弁護士。京都大学法学部卒、米国 University of California, Los Angeles 法科大学院卒（LL.M.）、中国北京語言大学留学。米国 Squire Sanders & Dempsey LLP 及び上海兆辰匯亜律師事務所にて勤務。日本国のほか、カリフォルニア州・ニューヨーク州弁護士資格を有する。涉外 M&A、国際仲裁をはじめ、グローバル展開をする日本企業の法務を主に扱う。各法科大学院でも、同志社大学（コーポレートガバナンス・アジア法）、京都大学（涉外契約演習）、神戸大学（中国法）の教鞭を執る。

■仲井 晃

弁護士法人 淀屋橋・山上合同パートナー弁護士。京都大学法学部卒。2010 年から 2012 年まで、中国に留学し、その間金杜法律事務所上海事務所、台北理律法律事務所、香港ヘンリーワイ法律事務所において勤務。現在は中国・アジア関係を中心とする進出・撤退等に関する業務、涉外紛争解決、国際取引、国内 M&A、訴訟等を取り扱う。日弁連国際交流委員会委員。

■大林 良寛

弁護士法人 淀屋橋・山上合同アソシエイト弁護士。東京大学法学部卒、立命館大学法科大学院卒（JD）、シンガポール国立大学卒（LL.M.）。現在、Rodyk & Davidson LLP に出向中、2015 年はバンコク及びジャカルタの現地法律事務所にも出向予定。国内外の M&A、倒産、事業再編、知的財産等を主な業務分野とする。

■金 大輝

弁護士法人淀屋橋・山上合同アソシエイト弁護士。同志社大学法学部卒。日本国内で M&A、紛争解決、倒産・事業再生等の業務に携わった後、2013 年に中国に留学し、君合律師事務所（北京）及び唐盛律師事務所（深セン）において勤務。2014 年 3 月よりソウルに留学中。2010 年から 2013 年まで同志社大学法科大学院アカデミックアドバイザー。